

連邦巡回区控訴裁判所（CAFC）の判事に Cunningham 氏を指名

2021年4月5日
JETRO NY 知的財産部
石原、赤澤

3月30日、ホワイトハウスは、連邦裁判所の判事ポストに空席が生じた又は近いうちに空席が生じることに伴って、新たな判事11名をバイデン大統領が指名することを発表した¹。この中には、5月末に連邦巡回区控訴裁判所（CAFC）を引退する Wallach 判事²の後任となる Tiffany P. Cunningham 氏が含まれる。

Cunningham 氏は、法律事務所 Perkins Coie で特許訴訟を担当するパートナー弁護士である。化学、医薬、生命工学、コンピュータサイエンス、自動車、機械工学などの分野での訴訟経験が豊富である。マサチューセッツ工科大学で化学工学の学士号を、ハーバード大学で法務博士号（J.D.）を取得しており、CAFC の Timothy Dyk 判事の補佐官としての勤務経験や、法律事務所 Kirkland & Ellis での勤務経験がある。

Cunningham 氏の指名が連邦議会上院の承認を得られれば、CAFC として初めての黒人の判事となるほか、CAFC の判事12名のうち6名が男性、6名が女性となる。

今回新たに指名された判事11名は、性別、人種、宗教といった点で多様性に富んでいることが評価されている。また、歴史的に見て、大統領就任後に異例の早さで判事を指名したことは、バイデン大統領の司法を重視する姿勢の表れであるとされている。

（以上）

¹ <https://www.whitehouse.gov/briefing-room/statements-releases/2021/03/30/president-biden-announces-intent-to-nominate-11-judicial-candidates/>

² https://www.jetro.go.jp/ext_images/_Ipnnews/us/2021/20210324.pdf